

よさこい にゅーす



112号
発行2011. 3. 10

発行 白木 幸子
編集 松岡 富美子

発行所：一般社団法人
高知県作業療法士会 広報部
事務局：高知市長浜251
海辺の杜ホスピタル作業療法科
<http://kochi-ot.main.jp/>

【目次】

「第9回高知県作業療法学会報告」	1	お店紹介・理事会報告	5
イベント・研修会報告	2	お知らせ・研修会情報	6
施設紹介・男の一品	4		

第9回高知県作業療法学会報告

実行委員長 福岡 知之（土佐リハビリテーションカレッジ）



基調講演講師 宮本 寛氏

平成23年2月5日～6日の2日間、一般社団法人高知県作業療法士会主催による第9回高知県作業療法学会を土佐リハビリテーションカレッジにて開催いたしました。今回のテーマは「土佐の“わ”～急性期から地域への繋がり～」と題し、様々な視点から個人が日頃の自分の職場での連携の振り返りや繋がりを意識できる機会となるよう企画しました。

1日目のシンポジウム「臨床に活かせる様々な視点」では、研究、マネジメント、教育という3つの立場からシンポジストの経験を通して臨床家に向けてのメッセージが伝えられました。また、2日目の基調講演では南国中央病院の宮本寛先生に「連携、語り合う、コミュニケーション」をキーワードに連携の必要性を幅広いご経験の中からわかりやすくお話いただき、それぞれが立ち位置を意識しつつも対等な立場で同じ目標に向かっていくためのコツと元気をいただきました。その後行われましたシンポジウムでは、「急性期～地域への繋がり一症例を通して」をテーマに自分達のかかわりの振り返り、それぞれの時期、施設で何をしなければいけないのか、そして何を申し送ることが必要なのかを確認できたのではないのでしょうか。また、基調講演で宮本寛先生にご紹介いただいた「私らしい暮らし連絡表」に関する勉強会の開催や、高次脳機能障害の共通評価表の試作など、今後継続的に取り組まなければならない課題もみえてきたように思います。



シンポジストの方々



シンポジストの方々

最後に、2日間を通して述べ200名近い参加者があり、本学会は無事に終了することができました。これもご協力をいただきました高知県内関係機関の皆様、また学会企画に携わっていただきました多くの方々のお力添えの賜物と感謝しています。紙面をお借りしてご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。



第17回公開講座報告

事業部員 小松 康伸(田中整形外科病院)



平成22年12月5日土佐リハビリテーションカレッジにて、葉山靖明氏を講師に迎え「生きるちからの見つけ方～明日へ向かう心にきづく～」と題し、公開講座が行われました。葉山氏自身は40歳の時に左脳内出血を発症、入院中に調理訓練を行ったことをきっかけに、作業の大切さを感じ作業療法に興味をもたれました。その後地域のデイケアに通うこととなりますが、デイケアには作業療法がなく、作業療法がある施設を自ら経営するという目標を持ち、「デイサービスけやき通り」を開業、経営に至った経緯があります。

講演では自身の経験や施設の紹介をしていただきました。発症されてからの身体的、心理的状态や施設経営に至るまでの貴重なお話は非常に感銘を受けると共に、作業療法を再認識する機会となりました。

また実際に九州でテレビ放送されたビデオや写真紹介では、利用者が病前利用していた物を持ち込んで作業を行ったり、家では家族に行動を制限されている方が漬物作りの作業を行ったりと、利用者個々が主体となり作業を行っていたことが印象に残りました。

「最も意味のある作業とは時の経過と共に変化する」と葉山氏は話されています。時に障害を抱えた方達は心理的不安におちいり自分にとって必要な作業を見出すことができない状態であると考えられます。そういった状態である対象者を作業療法士が支え、その時期やその方に応じた作業を探し出すことは非常に重要であると思います。今回の講演を聞き自分自身も名脇役として対象者を支えることができるように励みたいと思います。



講師 葉山 靖明氏

土佐塾中高等学校進路サポートプログラム(SSP)キャリアセミナー2011に参加して

広報部部長 山本 信平(県立芸陽病院)



後ろの学生なんか感動して涙が!...違うか(笑)

高知県には珍しく寒風吹きすさぶ、さる2月12日に土佐塾中高等学校にてキャリアセミナーなる催しが開かれました。キャリアセミナーとは、様々な職業人に仕事の内容ややりがいなどを語ってもらうことにより、生徒の職業観の育成や職業に対する理解や興味を深めることを目的とする教育プログラムです。今回で6回目となり、パティシエやアナウンサーら講師陣の中に作業療法士が組み込まれることになりました。

今回は広報部全体で依頼を受け、久武(土佐希望の家)・小松(近森第二)・森(だいいち)・山本(芸陽)のメンバー4名に、アドバイザーとして畑田(土佐リハ)・松岡(厚生年金)の2名を迎え、講義・体験内容について検討を重ねてまいりました。そして講義では「作

業療法士の仕事」や「数字でみるOT」と題してスライドを使いながら話し、体験では片麻痺状態からの自助具を使ったOT体験を行いました。

気になる成果は…手ごたえアリです! OTへの質問をアンケート形式で募集しましたが、半数以上の10数名が複数の質問をぶつけてくるという快挙! いやいや、部長の講義がわかりづらかったという意味ではないです(笑)



座談会での体験コーナーも盛況でした♪

とにかくこのような広報活動は、我々自身の職業観を見つめ直す貴重な機会であり、プレゼン能力を鍛えるチャンスと捉え、今後も継続していく所存です。このような活動に興味のある方は是非広報部にどうぞ!

広汎性発達障害セミナー2010 活動報告

細木ユニティ病院 森澤 充 (高知県精神科OT勉強会運営委員)
土佐病院 吉良 勇哉(高知県精神科OT勉強会運営委員)



昨年の平成22年9月11日から平成23年1月22日にかけてSIG団体である高知発達OT勉強会と高知県精神科OT勉強会共催による広汎性発達障害セミナー2010(全3回)が行われたので、報告させていただきます。

第1回目は『広汎性発達障害とは何か?』と題し、京都大学医学部附属病院の精神神経内科に勤務されている小野美樹先生をお招きしました。広汎性発達障害(以下、PDD)の基礎や先生の体験等を交えながら分かりやすく話をしていただき、理解を深めることができました。

第2回目は『PDDへのアプローチ方法～TEACCHプログラム～』と題し、高知県立療育福祉センター発達支援部に勤務されている田村謙二先生をお招きしました。TEACCHプログラムの概念や目的、対象者に合わせてどのように展開していくのか等を、実際行っている工夫や写真を交えながら説明してもらい、理解することができました。



第3回目は『児童・成人・就労分野における医療福祉現場でのかわり』と題し、各3分野からの実践報告と共に、コメンテーターとして田村謙二先生をお迎えして、現場における対応や工夫など分かりやすく話をしていただきました。現場での対応として、対象者の意欲・関心の高い活動をうまく取り入れることや、成功体験を積み重ねていく必要性などを改めて実感しました。全体を通し、保育士や教員など他職種の方も参加され、PDDへの注目度がうかがわれる勉強会となりました。

最後になりますが、各SIGからのお知らせがあります。精神科SIGでは今年の特別企画として『WRAP』について実践的な勉強会を実施する予定です。興味や関心がある方の参加をお待ちしています。発達SIGではメンバーの募集をしています。分野を問わず興味や関心がある方は、勉強会のアドレスまでご一報ください。

高知発達OT勉強会アドレス：hattatu_ot_kochi@yahoo.co.jp

高知県精神科OT勉強会連絡先：海辺の杜ホスピタルデイケアわくわく 中越 太一(事務局長)

TEL.088-841-2288 FAX.088-841-2280



長尾恭代 監事 第39回医療功労賞に輝く!



長尾 恭代 監事

長年にわたり地域医療に貢献した人に贈られる「第39回医療功労賞(読売新聞社主催、厚生労働省・日本テレビ放送網後援、エーザイ協賛)」を、一般社団法人高知県作業療法士会の監事である長尾恭代氏が受賞され、1月31日(月)、高知県庁において、表彰式が行われました。

長尾氏は、長年にわたり障害者の社会参加活動に従事する傍ら、高知県作業療法士会の立ち上げや、県内に作業療法士が少なかった時代に、県内各地の機能訓練事業に出向き作業療法の普及に努めたことなどが評価され、今回の受賞となりました。

長尾氏は、「障害があってもその人らしい暮らしができるよう支援をしてきた。個人が認められたというよりは作業療法が認められたことがうれしい」と話されています。

長尾氏は、現在も身体障害者通所授産施設「ウィール社」で施設長としてご活躍中です。現法人の前身である高知県作業療法士会の会長として、私たちが引っ張ってくださった長尾氏の今回の受賞を心からお喜びするとともに、先輩の活動をお手本に、私たちもまた、障害のある方の社会参加に貢献できる職種として努力を重ねたいと思います。

また、都道府県表彰のみならず、中央選考会によって選ばれる中央表彰者(国内15名、海外4名)にも選ばれ、3月10日には、東京帝国ホテルにて授賞式が行われました。(詳細は次号)

＜関連記事は高知県士会ホームページのぞいてみて下さい＞

施設紹介 アシストジャパン訪問看護ステーション高知

作業療法士 内藤 秋光・真鳥 伸也



弊社は愛媛県を中心にデイサービスセンター、訪問看護ステーション・ヘルパーステーションを運営しています。理学療法士が起業した会社で、有限会社という珍しい形態で現在130名程が在職しています。

当事業所は、看護師3名、理学療法士2名、作業療法士2名合計7名で運営している訪問看護ステーションです。介護保険開始の平成15年より高知市・南国市・香美市・香南市、吾川郡などで看護・リハビリテーションを提供しています。主に介護サービスの少ない郊外を中心に活動しています。

対象は、脳性麻痺等の先天性疾患からパーキンソン病、神経難病・脳血管障害と介護保険・医療保険の対象者に幅広く利用していただいています。

事業所の特徴は、在宅生活を出来るだけ「安全」「楽」に過ごせるよう身体・精神機能の回復にも諦めずに取り組む事です。最近では入院期間が短くなり、利用者の方々が自分の納得するまでリハを受けずに在宅での生活が始まる事が多いようです。そのような方々が、在宅でリハを続けたいと希望され当事業所を利用してくださっています。

まだまだ十分な関わりは出来ませんが、「歩きやすくなった」「動いても怖くなくなった」と利用者の方から聞かれたり、「うちの子供も障害があっても成長しているのですね」と家族の方から聞かれ、セラピストとしての喜びを日々感じ、毎日楽しく仕事に取り組んでいます。

これからも、一緒に喜んでくれる人がもっと増えるように、高知県を飛び回りたいと思います。

〒780-0084
高知市南御座 12-19 小倉ビル 2階
TEL:088-880-4333

男の一品 焼き肉サンド

南国中央病院 山本 学



《材料(1人分)》

- ・牛肉：食べたい分
- ・焼き肉のたれ：適量
- ・食パン：2枚
- ・レタス：1枚
- ・バター：適量
- ・マヨネーズ：適量
- ・サラダ油：少量

男と言えばやっぱり「肉」！ということで、本日は贅沢に窪川牛を使用しました。窪川牛さんありがとう！！

どういたしまして



作り方



①まず、お肉を両面焼きタレを加えて、汁気が半分になるまで煮詰める。



②お肉を焼いている間に食パンをトーストします。



③トーストした食パンの両片面にバターを塗り、レタスをのせます。そして、お肉を盛りマヨネーズをかける。




④パンをサンドし、半分に切って出来上がり！



⑤最後に豪快に食す！



おいしそうだモ〜 

出来上がりもおいしいですが、冷めてもおいしいのでお弁当に入れてもいいと思います。簡単に作れるのでぜひ皆様も作ってみてください。

バリアフリーなお店「グラッツェミーレ」

広報部員 石丸 辰也 (高知ハビリテーリングセンター)



今回車いすでも飲みに行けるイタリアンのお店の紹介です。

私の職場は施設長が車いすを使っておられる事もあり、飲み会は毎回車いすでも行けるお店を選んでいきます。今回紹介するお店はその内の一つです。場所は高知通りの電停を降りてすぐにあります。

入り口も店内も段差はなく車いすでも入れます。店内のソファや椅子と仕切りは白で統一され清潔感があり、テーブルのグループごとの幅も広くスペースもゆったりしており、車いすでも通行に問題のない広さになっています。トイレは障害者用のトイレではありませんがお店を出れば目の前にローソンがありそこに障害者用のトイレもあります。



ビールもジョッキだと手指の動きの悪い頸椎損傷の方は持ちにくかったりしますが、細いグラスに入ってきてしかも高知の方が大好きな喉ごしのあるキンビールです。コース料理も手頃な値段で頂きました。



<グラスの形に注目！>

お客さんは女性が多く、幅広い年齢の方に人気で、綺麗な店員さんの笑顔につられて和みのある雰囲気が出ています。また、BGMに流れるジャズが店の雰囲気にマッチし、ゆったりとした時間を過ごすことができます。



コース後にデザートピザを注文。

新しいデザート感覚で美味しく頂きました。車いすだと段差やトイレの問題もあり、利用できるお店が限られますので機会があれば利用してみてください。

OTシンタロウ

広報部 キラ



理事会報告

<報告及び審議>

事務局より：高知県ふくし機器展実行委員会より「第10回高知ふくし機器展」後援依頼あり、後援する

財務部より：次年度会計について、研修会・学習会等の講師料は振込みの方向で計画していく

学術部より：第9回高知県学会は平成23年2月5日(土)～6日(日)に開催した

事業部より：①第17回公開講座「いきるちからの見つけた」を平成22年12月5日に開催した

次年度は広報は早めの対応をとり、案内先はテーマに関連のある施設を中心に見直す

②イベント用広報グッズの残りが少ないため購入予定(エコバックが好評だった)

福利部より：福利部の活動に関するアンケートは学会受付で回収した福利部取得のフリーアドレスを相談窓口とし、会員からの相談を受けつける方向

保険部より：「地域連携についての勉強会」を平成23年2月11日(金)に開催した

広報部より：「土佐塾キャリアセミナー2011」が平成23年2月12日(土)開催され、部員4名を派遣した

その他：①第39回医療功労賞授賞に長尾恭代OTRが選ばれ授賞

②平成23年度総会予定日は5月22日(日)として会計事務所の方とスケジュール調整をしていく

お知らせ

【研修会情報】

FIM福祉手療法研究会第2回学術大会

内 容	テーマ：FIM福祉手療法に対する臨床的応用 FIM福祉手療法に対する解剖学、運動学を基礎とした身体理解と臨床への応用的な法的問題について講演、報告を行います。
日 時	2011.4.17(日)10:00～15:00 (受付9:30～)
会 場	徳島文理大学 (アカンサスホール2号館3F)
講 師	福岡克哉先生 (信州病院 院長)
申込方法	FIM福祉手療法研究会 徳島市十津川 徳島西岡 E-Mail: shimada@f-tochu.org mailにて1.氏名、2.所属施設、3.mail-address、4.会員の有無の可否を入力の上送付してください。

呼吸器理学療法実践セミナー―基礎から臨床まで―

日 時	2011.3.26(土)・27(日) 10:00～16:00 (予定) 09:30～で2日間開催。ご都合のつく日でご参加下さい。
定 員	各80名 (定員になり次第締切)
会 場	兵庫医科大学リハビリテーション医学教室
講 師	西岡 敏 理学療法士 兵庫医科大学60歳リハビリテーション部
受 料 料	15,000円 (税別税込)
申込方法	メール又は任意の形式に、参加希望日、お名前、御所属、御職種、連絡先住所、日中連絡可能な電話番号をご記入のうえ、下記にお送り下さい。お返り、参加可否、受講料納込先などをお知らせします。受講料の納込みをもちまして、お申し込みを受取いたします。 〒650-8011 大阪府西成区1-1 兵庫医科大学リハビリテーション医学教室 E-Mail: office@niced.org

一般社団法人 高知県作業療法士会 事務局
海辺の杜ホスピタル 作業療法室
TEL・FAX 088-841-2460
<http://kochi-ot.nin.jp/>
お支払いの点などございましたら事務局まで
ご連絡下さい。よろしくお断り致します。

一般社団法人 高知県作業療法士会
会員数 501名(平成22年7月21日現在)